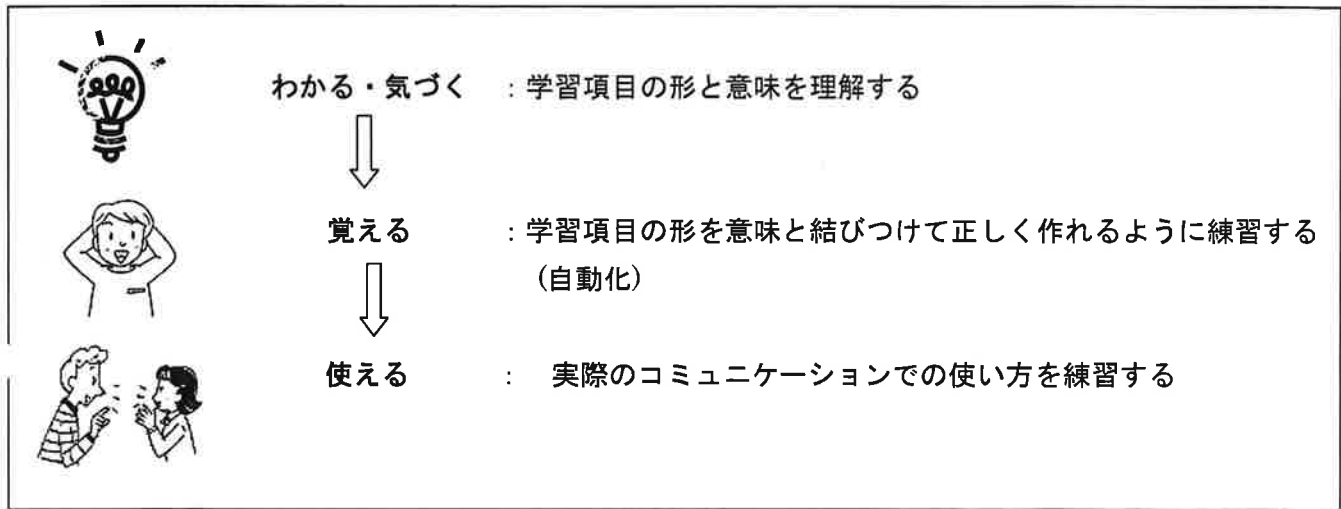


教室活動のヒント

1. 言語習得のプロセスを授業の流れに当てはめると



2. 学びへの意欲を4つに分けて考える(ARCSモデル)

ジョン・M・ケラー (John M. Keller)

アメリカの教育工学者



動機付けについての資料: 国際交流基金「日本語教育通信」56号、62号「授業のヒント」

(以下の URL で見られます)

http://www.jpf.go.jp/j/japanese/survey/tsushin/hint/pdf/nk56_06-07.pdf

http://www.jpf.go.jp/j/japanese/survey/tsushin/hint/pdf/nkt62_P6_7.pdf

ビデオ		メモ
1	昨日、今日、明日、 曜日	
2	何をしていますか	
3	語彙(動物)	
4	好きですか	
5	Warming up (日本語の頭、歌)	
6	文の確認(グループ)	
7	Performing a sketch	
8	自己紹介 ペア	
9	読む	
10	書く(essay)	

3.コミュニケーションの要素

- ・ 目的
- ・ 選択権(表現、内容)
- ・ インフォメーション・ギャップ(Information gap)
- ・ 反応

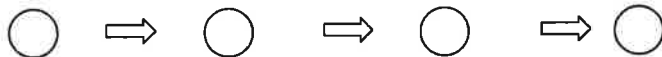
アンケート(本日の発表「教室活動のヒント」について、以下の質問にお答えください。)

1. 次の①～④の内容は、今のあなたにとって役に立つと感じましたか。1～4 の中であてはまるものに○をつけてください。

内容	今のあなたにとって、どうでしたか。			
① 授業の流れ	とても役に立った 1 _____	まあ役に立った 2 _____	あまり役に立たない 3 _____	まったく役に立たない 4 _____
② 学びの意欲	とても役に立った 1 _____	まあ役に立った 2 _____	あまり役に立たない 3 _____	まったく役に立たない 4 _____
③ ビデオ	とても役に立った 1 _____	まあ役に立った 2 _____	あまり役に立たない 3 _____	まったく役に立たない 4 _____
④ コミュニケーションの要素	とても役に立った 1 _____	まあ役に立った 2 _____	あまり役に立たない 3 _____	まったく役に立たない 4 _____

2. 役に立つ順に番号を書いてください。

例: ①→②→③→④ (①が一番役に立つと感じた場合)



- 3.1 の質問で、「1 とても役に立った」「2 まあ役に立った」を選んだ項目についてお答えください。

内容	どんな点が参考になりましたか。
① 授業の流れ	
② 学びの意欲	
③ ビデオ	
④ コミュニケーションの要素	

4. さしつかえなければ、所属機関名をお書きください。 _____

ご協力ありがとうございました。これからの研究会の活動に活用させていただきます。